

第14回 天田財団助成研究成果発表会の開催案内 「インクリメンタル成形加工における技術動向」

＜日本塑性加工学会の春季講演会に併設＞

日時：平成28年5月20日（金）13:00～19:30

会場：京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

センターホール 講堂

[〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町]

交通：松ヶ崎駅 徒歩約8分

主催：天田財団

後援：日本塑性加工学会

協賛：日本鍛圧機械工業会

日本金属プレス工業協会

趣旨：天田財団は、金属等の塑性を利用した加工や高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究助成を通じて、学術の振興と新しい科学技術の創出を図り、産業と経済の健全な発展に寄与します。また、助成研究成果の普及啓発も事業の一環と位置づけ、一般社団法人日本塑性加工学会のご協力により、本年も「天田財団助成研究成果発表会」を開催させていただくことになりました。今回は「インクリメンタル成形加工における技術動向」を主テーマに、発表と産業界の方も交えたパネルディスカッションを行います。

＜発表会の内容＞

1. 主催者挨拶 (13:00～13:05)

当財団専務理事 佐藤 雅志氏

2. 第14回 天田財団助成研究成果発表会趣旨説明

(13:05～13:10)

静岡大学特任教授

当財団理事 中村 保氏

3. 特別講演 (13:10～13:55)

『インクリメンタル成形の研究動向と高精度・高機能化への試み』

静岡大学教授 田中 繁一氏

4. 研究成果発表

(1) 「動的局所加熱逐次張出しによる軽量・難成形板材の成形加工」 (13:55～14:30)

広島大学大学院准教授 日野隆太郎氏

(2) 「同期絞りスピニング加工による異形断面形状の成形法の研究」 (14:30～15:05)

産業技術総合研究所上級主任研究員 荒井 裕彦氏

＜休憩＞ (15:05～15:10)

(3) 「サーボプレスを用いた逐次鍛造技術の開発」

(15:10～15:45)

名古屋大学大学院准教授 湯川 伸樹氏

(4) 「傾き自在な工具を用いた薄板・箔のマイクロ逐次打点成形」

(15:45～16:20)

電気通信大学大学院教授 久保木 孝氏

＜休憩＞ (16:20～16:30)

5. パネルディスカッション (16:30～17:30)

「インクリメンタル成形加工における技術動向」

コーディネーター 信州大学教授 北澤 君義氏

パネリスト 福井大学教授 大津 雅亮氏

産業技術総合研究所客員研究員 中村 敬一氏

(株)アミノ代表取締役社長 網野 雅章氏

三菱重工業(株)主席研究員 山田 毅氏

＜移動:バス＞ (17:30～18:00)

6. 懇親会(発表者の表彰を行います)

(18:00～19:30)

定員申込順 120名程度、参加費無料

(事前の申込みが必要です)

会場：京都ガーデンパレス 葵の間

住所：京都市上京区烏丸通下長者町上ル

龍前町 605

移動：京都工芸繊維大学からチャーターバス

申込方法：当財団のホームページより発表会・懇親会の参加申込みをお願いします。

＜ <http://www.amada-f.or.jp> ＞

申込締切日：平成28年5月14日

問合せ：公益財団法人天田財団 事務局 宛

〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田 350 番地

電話：0463-96-3580 FAX：0463-96-3579